

教員育成指標に基づいた 資質能力を育成する教員研修について

令和2年12月22日(火)

中央教育審議会教員養成部会

福井県教育委員会・福井県教育総合研究所

1 福井県 教員育成指標

福井県教員育成指標						
福井の教育が目指す育たい人画像						
自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために挑戦し続ける人		多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人		ふるさとを愛し、いっしょにいても社会や地域に貢献する人		
福井が求める教師像						
校務・教科等に関する専門的知識・実践的スキルを持つ人		専門分野に幅広い教養を身につけ、自立した社会人としての良識や		子どもたちとより、同僚や家庭、地域社会と円滑な人間関係を築き、		教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心を持つ人
教員・能力	福井が求める教員像	福井県教員育成指標			教員・能力	目指す教員像
		基1ステージ	基2ステージ	基3ステージ		
人間性・社会性・コミュニケーション力	「誰かから人間性、広い視野」 「社会人としての一般常識」 「他者との意思の疎通と協働」	「人間性の力の開発、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会など)」 「謙遜な姿勢、法令の遵守、服務の厳格かつ公平な実行」 「関係性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進」 「子ども、教職員、地域社会などとの協働」	「中堅教員・シニアリーダーとして」 「教員としての専門性、責任感」 「学校教育を牽引する使命感、責任感」	「経験を生かして指導・助言し、組織的な推進を図る」 「組織的な推進を図る」	「将来を担う子どもの成長に関する使命感や責任感の強い覚悟」	「誰かから人間性、広い視野、美しい言葉の醸成」 「子どもや教職員の心とつながる力」 「文化、習俗、地域社会などとの協働」 「関係性の構築」
	「学びの専門家としての学び続ける意欲」 「多様な社会課題への挑戦」	「自ら学び続ける意欲の醸成(継続的学習、解決の努力・奮闘する力)」 「主体的協働研究への積極的な参画」	「専門性の深化とアップデート」 「学校内外専門分野における研究の牽引」 「若手教員の指導への積極的な関わり」	「自分の専門性の深化と更新」 「学校内外専門分野の組織的な研究の推進」 「教職員の資質・能力を高める指導、助言」		「情熱と教育意欲と専門による自己の職能の成長」 「正確で迅速な情報収集、状況把握、適切な判断力」 「教育情報や協働活動、時代の流れへの的確な把握」
専門性	「教科等を学ぶ意欲の醸成」 「教科等で学力の把握」	「教科等において、多様な多角的視点での研究の推進と専門性の向上」 「指導の成果の振り返りを中心とした、教科等において、人間性を育む教育を推進」 「子どもを主体的に学び、豊かな学力、生きる力」	「教科等において、多様な多角的視点での研究の推進と専門性の向上」 「指導の成果の振り返りを中心とした、教科等において、人間性を育む教育を推進」 「子どもを主体的に学び、豊かな学力、生きる力」	「教科等において、多様な多角的視点での研究の推進と専門性の向上」 「指導の成果の振り返りを中心とした、教科等において、人間性を育む教育を推進」 「子どもを主体的に学び、豊かな学力、生きる力」		「幅広い分野での授業展開」 「教科等の特長や児童の発達段階に応じた指導」 「資質・能力を育む授業の推進」 「主体的・対話的で深い学びの実現」 「多様な授業形態の工夫」 「主体的・対話的で深い学びの実現」 「多様な授業形態の工夫」 「主体的・対話的で深い学びの実現」 「多様な授業形態の工夫」
	「教科等の基礎的な指導力」 「主体的・対話的で深い学びの実現」 「探究的な学びの計画、立案」	「教科等の特性や本質の理解」 「ユニークな学びの場の創出」 「主体的・対話的で深い学びの実現」 「多様な授業形態の工夫」 「主体的・対話的で深い学びの実現」 「多様な授業形態の工夫」	「教科等において、多様な多角的視点での研究の推進と専門性の向上」 「指導の成果の振り返りを中心とした、教科等において、人間性を育む教育を推進」 「子どもを主体的に学び、豊かな学力、生きる力」	「教科等において、多様な多角的視点での研究の推進と専門性の向上」 「指導の成果の振り返りを中心とした、教科等において、人間性を育む教育を推進」 「子どもを主体的に学び、豊かな学力、生きる力」	「教科等において、多様な多角的視点での研究の推進と専門性の向上」 「指導の成果の振り返りを中心とした、教科等において、人間性を育む教育を推進」 「子どもを主体的に学び、豊かな学力、生きる力」	
指導力	「福井の教育の特色の理解」 「ふるさとを育む力」	「子どもを育むための意欲・情熱」 「福井の教育の特色の理解」 「ふるさとを育む力」	「子どもを育むための意欲・情熱」 「福井の教育の特色の理解」 「ふるさとを育む力」	「子どもを育むための意欲・情熱」 「福井の教育の特色の理解」 「ふるさとを育む力」		「生徒の成長を支援する力」 「協働活動の推進」 「協働活動の推進」 「協働活動の推進」
	「子どもの成長の重要性の理解」 「一人一人に寄り添う」	「子どもの個性、特性の理解」 「一人一人の子どもに寄り添う」	「子どもの成長の重要性の理解」 「一人一人に寄り添う」	「子どもの成長の重要性の理解」 「一人一人に寄り添う」	「子どもの成長の重要性の理解」 「一人一人に寄り添う」	
特別支援教育	「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」	「子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」	「子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」	「子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
マネジメント力	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
社会性	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
安全・安心	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
連携	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
地域貢献	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
福井の教育	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」
	「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲	「自己の時間管理の意欲」 「協働的な時間管理」に対する意欲		「特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基幹的知識」 「高度障がいに対する知識、理解」

1 福井県 教員育成指標

福井県 教員育成指標

福井の教育が目指す育てたい人間像

自らの個性を発揮し、人生を切り拓くために
挑戦し続ける人

多様な人々の存在を認め、
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、
いっどこにいても社会や地域に貢献する人

福井が求める教師像

校種・教科等に関する
専門的知識・実践的技能
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身につけ、
自立した社会人としての良識や
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、
地域社会と円滑な人間関係を築き、
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に
燃え、常に学び続ける
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める 採用時の姿	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	ステージ	管理職 トップリーダーとして 教育活動を推進する
			教員としての基盤を固める	中堅教員・ミドルリーダーとして 教育活動を牽引する	経験を生かして指導・助言し、 組織的な運営をする		
素 養	教育的愛情 使命感	・子どもに対する愛情 ・教職への情熱	・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	・学校教育を牽引する使命感、責任感	・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感	教育的愛情 使命感 責任感	・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力
	倫理観 人間性 社会性	・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的な魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など)	・謙虚な姿勢、法令の遵守、サービスの誠実かつ公正な遂行	倫理観 人間性 社会性		・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員の示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などの信頼関係の構築
	コミュニケーション力	・他者との意思の疎通と協働	・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間の意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通	自らの実践の深化と改善 ・学校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、		素	・明確な教育理念と省察による自己
	学び続ける力 探究心	・学びの専門家としての学び続ける意欲 ・多様な社会体験への挑戦	・自ら学び続ける基盤の構築(課題の発見・解決の努力・省察する力) ・自主的な協働研究への積極的な参画		・専門性の深化とキャリアアップ ・学校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり		

1 福井県 教員育成指標

マネジメント・人材育成	特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の基本的な知識 発達障がいに対する知識、理解 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等に対する支援の理解、実践 合理的配慮に対する理解、実践 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援の中核として実践を牽引 子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域、関係機関との連携・協働 チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別支援教育や外国人児童生徒等への支援に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言 	経営者としての専門性(経営・組織マネジメント)	<ul style="list-style-type: none"> 場と連携した学校づくり 子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり 特別支援教育のコーディネート力を高め、組織的なインクルーシブ教育の推進
	業務改善(働き方改革に向けて)	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な時間管理に対する意識 	<ul style="list-style-type: none"> 自己の勤務時間の管理 PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進 	<ul style="list-style-type: none"> チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践 	<ul style="list-style-type: none"> チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言 学校教育活動全体の精査と精選の具体的提案と組織的な実践 		<ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質・能力や適性の把握と的確な勤務管理 目標管理票と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導 教職員の持ち味や新しいアイデア等の学校運営への活用 教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成
	学年経営 学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 理想とする学級形成 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や集団の適切な安全管理 協働的な学級づくりの指導 スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 報告・連絡・相談による教職員間の協働 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学年活動の推進を牽引 スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 若手教員の抱える課題の理解、支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や学年活動の推進を牽引 校経営への参画 スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 協働するネットワークの構築と指導、助言 		<ul style="list-style-type: none"> 安全な環境での教育活動の展開 学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係機関との連絡、調整 地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
	社会の変化への対応	<ul style="list-style-type: none"> 学校現場の現状の理解 社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の実態、社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策への指導、助言と組織的な実践 		学校安全 危機管理
	学校安全 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解 	<ul style="list-style-type: none"> 学級や集団の適切な安全管理 勤務校の危機管理体制に対する理解 	<ul style="list-style-type: none"> チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対応 適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント 学校の事件、事故の対応と未然防止に対する教職員の指導、助言 		
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 様々な課題に対応する力 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内外の自主研究への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 若手教員に対する指導、助言 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修、自主研究の企画、運営 		財務管理
組織における協働	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協働して、創造する経験 協働の良さを子どもに発信する力 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員間の同僚性の構築 チームで対応することへの理解と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ミドルリーダーとしての自覚と積極的な行動 チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上 	<ul style="list-style-type: none"> チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築 			
連携・協働	家庭や地域社会との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会に貢献する経験 地域社会の中で子どもを育成する意義の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭、地域社会、関係機関との連携・協働のネットワークの形成 家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 学校内外の様々な活動に対する積極的な参画 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域、関係機関との連携・協働 	家庭や地域		
	<ul style="list-style-type: none"> 地域社会に貢献する経験 地域社会の中で子どもを育成する意義の理解 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭、地域社会、関係機関との連携・協働のネットワークの形成 家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築 学校内外の様々な活動に対する積極的な参画 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域、関係機関との連携・協働 	<ul style="list-style-type: none"> スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意義的 			

2 現在行っている4つの教員研修形態

実践研究グループ協議、演習を中心とした集合型研修

集合型研修

第1ステージ向けコンテンツの充実
教育改革に対応した講座

通信型研修

研究所員が自作
オンデマンド
100プログラム

遠隔型研修

県内6エリアにオンライン配信
ハイブリッド研修、オンライン
グループ協議、個人面談等
移動距離・移動時間の負担軽減
研修場所の柔軟化(職場・自宅)

訪問型研修

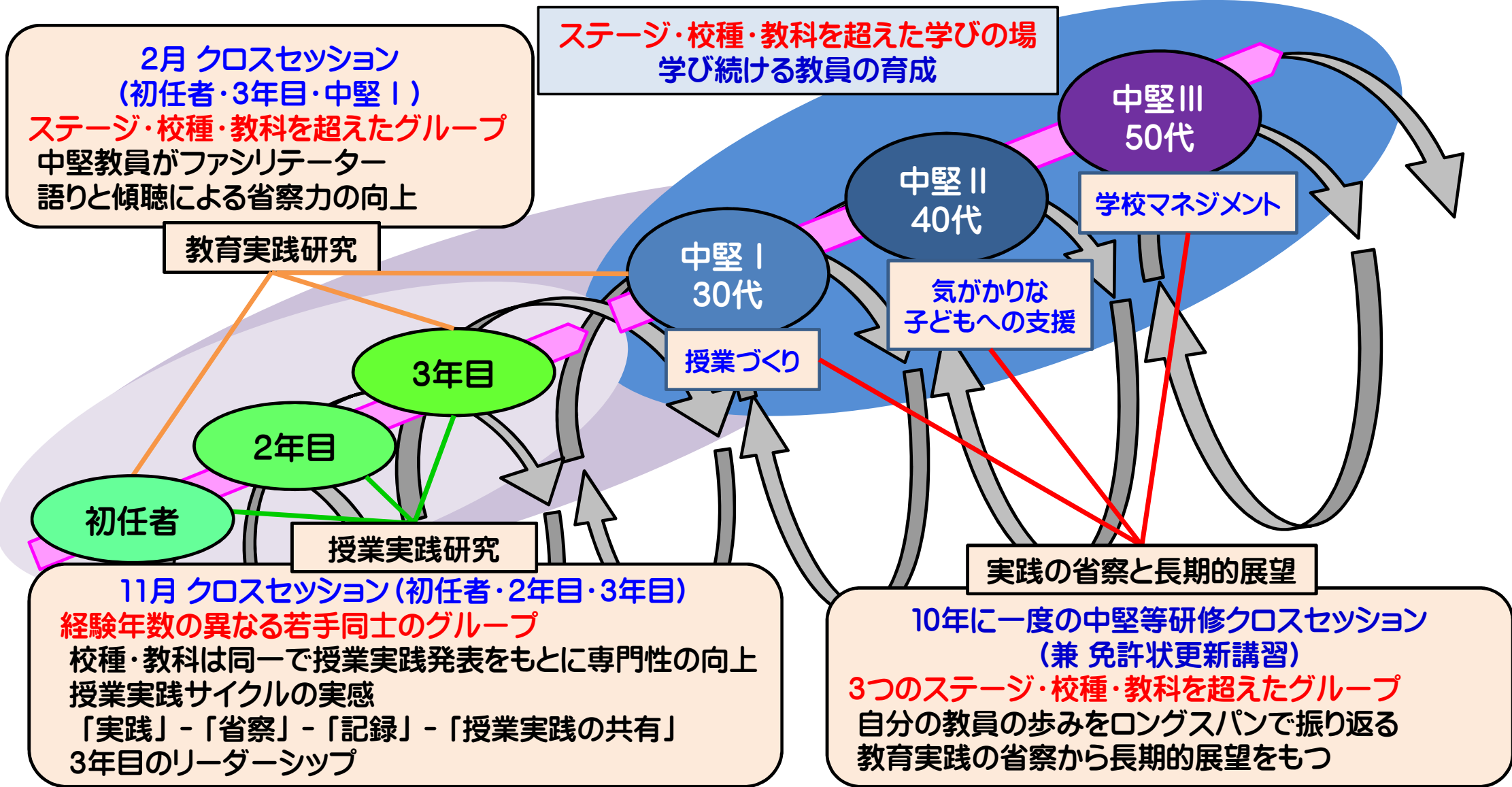


授業づくり、学校マネジメント、プログラミング教育、教育相談等
各学校の課題に即した実践的な研修
市町単位の訪問型研修を推奨し
OJTを促進

3 福井県の教員研修体系

主体的に学び続ける教員の育成	管理職	新任校長研修 3日			
		新任教頭研修 5日			
	第3ステージ	中堅教諭等資質向上研修Ⅲ 3日	【免許更新講習18時間読替可】 福井大学教職大学院共催		フ テ ー ジ ・ 校 種 ・ 教 科 を 超 え た ク ロ ス セ ッ シ ョ ン
		マネジメント研修 2日	学校組織、カリキュラムマネジメント 【修了生は「福井大学教職大学院 1年履修コース」に進学可】		
	第2ステージ	中堅教諭等資質向上研修Ⅱ 3日	【免許更新講習18時間読替可】 福井大学教職大学院共催		
		中堅教諭等資質向上研修Ⅰ 8日	【免許更新講習18時間読替可】 福井大学教職大学院共催		
	第1ステージ	3年目研修 3日		若手教員 自主研究サークル	
		2年目研修 5日			
		初任者研修 14日			
	採用前	内定者研修 3日	臨時任用講師研修 6日	教員志望者セミナー	

4 世代間・校種間・教科間をつなぐクロスセッションを核とした教員の資質・能力の向上



5 10年に一度の中堅教諭等資質向上研修 —免許状更新講習を組み入れて—

免許更新期間に合わせて10年に一度受講する悉皆研修

福井大学連合教職大学院との共催研修を3日組み込む

(必修6時間、選択必修6時間、選択6時間 計18時間分の免許状更新講習に読替可)

R2は双方向オンライン講習 3日×3期で実施 受講場所:職場、自宅)

学校マネジメント

中堅研修 III

50代の免許更新期間に受講 3日間 (18時間読替可)
経験を生かして指導・助言し組織的な運営をする

気がかりな子どもへの支援

中堅研修 II

40代の免許更新期間に受講 3日間 (18時間読替可)
中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する

授業づくり

中堅研修 I

30代の免許更新期間に受講 8日間 (3日間 18時間読替可)
教員としての基盤を固めミドルリーダーへステップアップ

免許状更新講習を基本研修(悉皆)に組み込む → 指標に基づいた系統的資質能力の育成

同じプログラムを福井県全教員が受講 → めざす資質・能力をキャリアに応じて培う

同世代・世代間・異校種のクロスセッション → キャリアアップの展望をもつ

中堅教諭等資質向上研修

(免許状更新講習読替可)

30代・40代・50代クロスセッション
3日間×年4回実施



小学・中学・高校・特支の校種混合
ホーム: 3日間を通して同じグループ
クロス: メンバーをクロスしたグループ



ファシリテータ 新任教頭

1・2日目 ファシリテーター

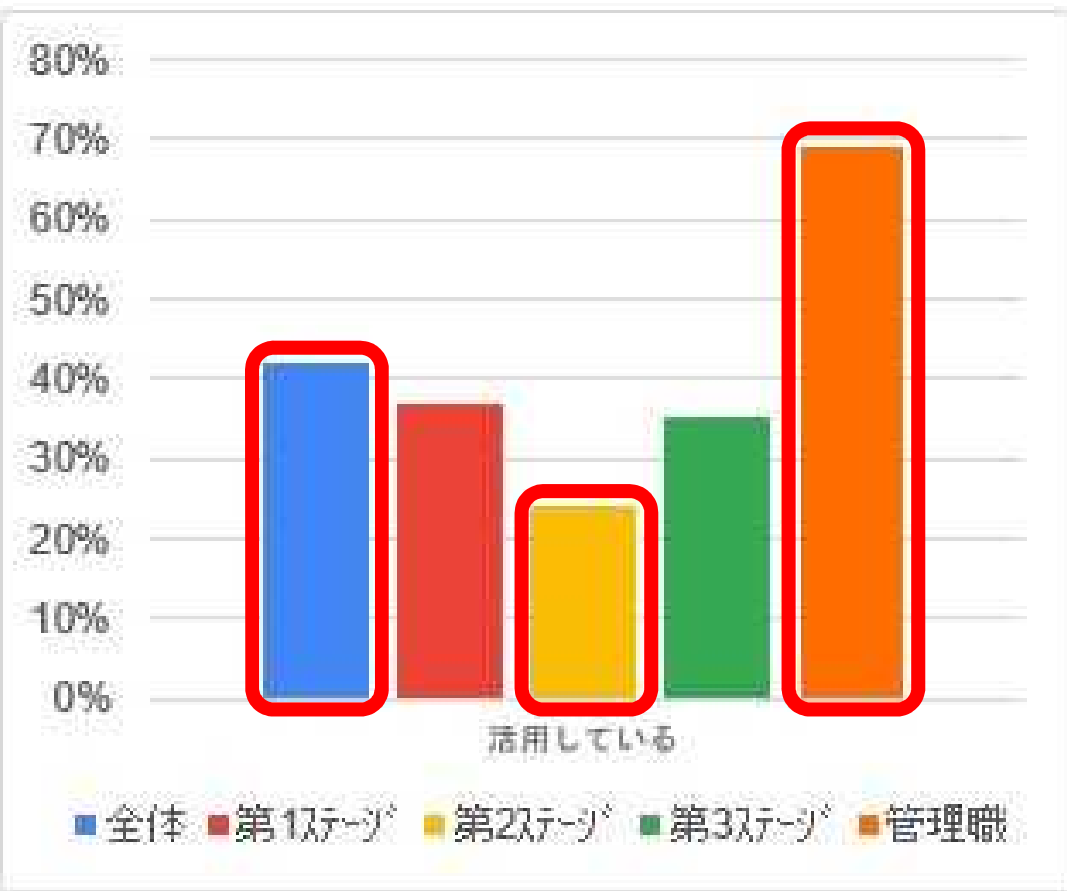
ファシリ→研修→ファシリ

研修内容・姿の共有

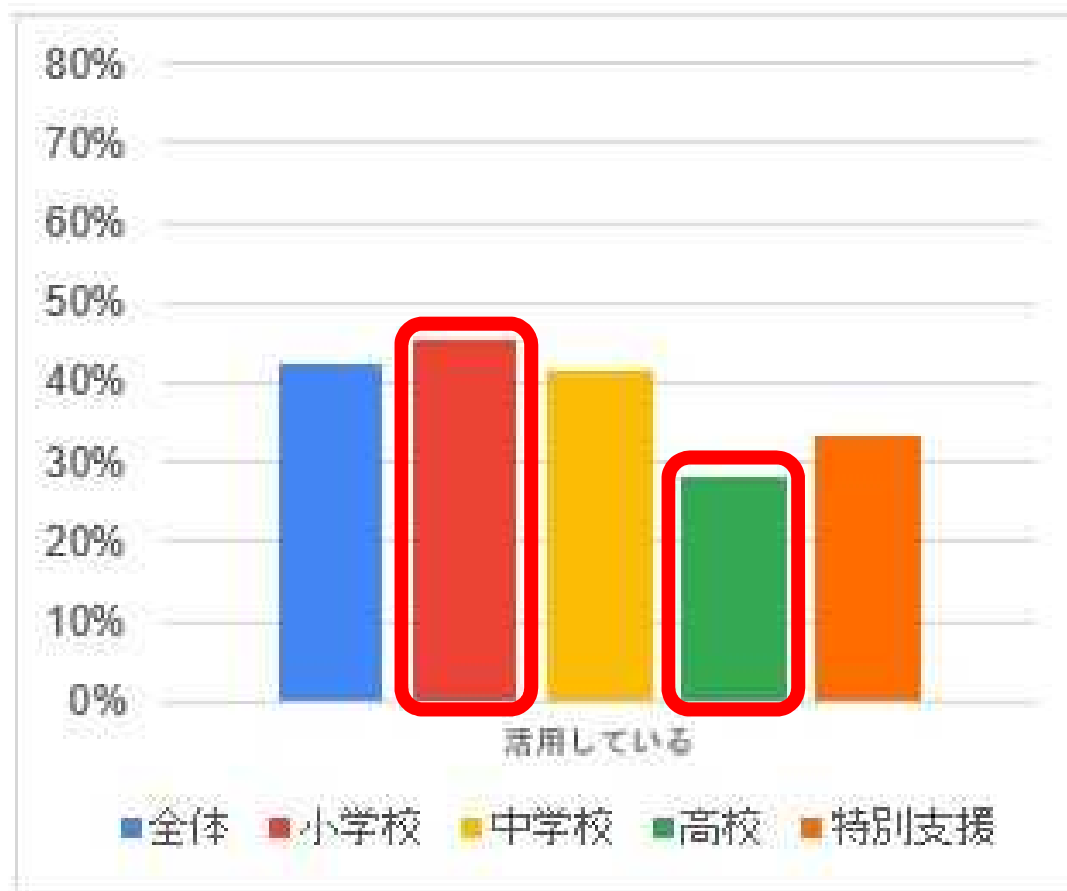
6 教員育成指標活用アンケート

全学校 1053人回答 各学校4人回答
管理職・第1・第2・第3ステージ
QRコードから返信（令和2年2月実施）

ステージ別



校種別



7-1 育成指標に基づいた資質・能力について意識化

1 福井県教員育成指標をもとにこれまでの授業実践研究を振り返り、自分の意識や取り組み等が変容した（良くなった）と思われる項目にチェックを入れてください。（複数回答可）

- 1. 教職に対する使命感、誇り、責任感
- 2. 自ら学び続ける基盤の構築
- 3. 子どもの個性を尊重し、豊かな人間性を育む熱意
- 4. 子どもや家庭との信頼関係の構築
- 5. 教職員間の同僚性の構築
- 6. 教科等の専門性の向上
- 7. 教科等の多面的・多角的な視点での研究の推進
- 8. 子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追求
- 9. 教科等の特性や本質の理解
- 10. 主体的・対話的で深い学びへの工夫
- 11. ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しく分かる授業
- 12. 指導と評価の一体化に基づく実践
- 13. 子どもの学びをもとにした授業づくり
- 14. 子どもの個性、特性に応じた指導、支援
- 15. 子どもの特性を理解した原因分析力

2 上記1でチェックを入れた項目の中で、特に変容が大きかったと思われるものについて、その変容を具体的にお書きください。

自ら学び続ける基盤の構築という部分の変容が大きかったと思う。研修などに参加し、学ぶことを実践すると、うまくなることなど新たな発見ができた。そのためにこれからも学び続けていかねばならないと思った。また、これまでの実践を振り返ることで、もっと自分の授業力を高めたいと思うようになった。

全研修実施
ねらう資質・能力の明記
研修後 資質・能力の自己評価

中間自己評価(11月)
資質・能力の意識的取組
必要な資質・能力への取組

年度末自己評価(2月)
資質・能力の変容
必要な資質・能力への取組

3 福井県教員育成指標をもとに、今後の授業実践研究でどのような実践を積み重ねていきたいか、またどのような資質能力を向上させていきたいかお書きください。

児童が楽しく、主体的に学ぶことができるような授業を目指すために、日々の教材研究にもっと力を入れていきたい。特に、グループ活動をどのように行っていくのか今後考えて実践してみたい。思考ツールを使いなど新たな視点を得られたので、実際にやってみようと思う。児童一人一人を見取る力をもってつけていきたいとも思う。

7-2 育成指標に基づいた資質・能力について意識化 -実態に合わせた研修に向けて-

➤ 資質能力への意識した取り組みや変容の振り返り(11月若手研修)

自分の意識や取り組み等が変容した(良くなった)と思われる項目にチェックを入れてください。(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1.教職に対する使命感、誇り、責任感 | 9.教科等の特性や本質の理解 |
| 2.自ら学び続ける基盤の構築 | 10.主体的・対話的で深い学びへの工夫 |
| 3.子どもの個性を尊重し、豊かな人間性を育む熱意 | 11.ユニバーサルデザインの視点の楽しく分かる授業 |
| 4.子どもや家庭との信頼関係の構築 | 12.指導と評価の一体化に基づく実践 |
| 5.教職員間の同僚性の構築 | 13.子どもの学びをもとにした授業づくり |
| 6.教科等の専門性の向上 | 14.子どもの個性、特性に応じた指導、支援 |
| 7.教科等の多面的・多角的な視点での研究の推進 | 15.子どもの特性を理解した原因分析力 |
| 8.子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究 | |

項目No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全体	47.0%	66.0%	52.6%	34.5%	36.7%	53.0%	44.6%	52.1%	32.1%	65.0%	40.6%	17.8%	49.7%	52.5%	27.0%
初任者	55.7%	75.5%	57.8%	31.8%	37.0%	49.0%	44.3%	59.9%	29.7%	64.1%	45.3%	17.7%	55.2%	56.3%	31.8%
2年目	47.3%	68.1%	52.2%	35.7%	40.6%	58.0%	46.4%	50.7%	34.8%	69.1%	41.5%	15.5%	50.2%	51.7%	26.1%
3年目	38.8%	55.0%	48.3%	35.9%	32.5%	51.7%	43.1%	46.4%	31.6%	61.7%	35.4%	20.1%	44.0%	49.8%	23.4%

8-1 福井県におけるシステムによる研修受講履歴管理

平成29年度から

教科研修等の
「講座申込」⁺

基本研修、教科研修等の
「受講履歴閲覧」

10年ごとのキャリアステージ別に受講履歴を表示

キャリアステージは採用年月日から計算されたものです。

職員番号	氏名	職名
勤務校		在籍年数

【基本研修 中堅等研修（教員免許更新新設特可）】
平成29年4月～平成30年3月

領域	免許更新講習の名称	時間数
必修	【必修】教育実践と教育改革Ⅰ—アクティブに「これからの教育」を学ぶ—	6h
選択必修	【選択必修】教育実践と教育改革Ⅱ（教育の最新事情②B）アクティブに「気がかりな子どもの支援」を学ぶ	6h
選択	【選択】教育実践と教育改革Ⅲ（教育の最新事情③）アクティブに「教育実践の省察」を深める	6h

【研修講座】 キャリアステージは採用年月日から計算されたものです。

キャリアステージ	研修分野	教科種類	講座名	期間	時間数	備考
10	20	30	40			
△		教職	わかるQ-Uと「キレイやすい」子への対応	平成21年	3h	3h/6h
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成22年	6h	
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成23年	3h	
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成23年	3h	
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成23年	6h	
○		教科	音楽	平成21年	6h	
○		教科	音楽	平成21年	6h	

【研修講座】 キャリアステージは採用年月日から計算されたものです。

キャリアステージ	研修分野	教科種類	講座名	期間	時間数	備考
10	20	30	40			
△		教職	わかるQ-Uと「キレイやすい」子への対応	平成21年	3h	3h/6h
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成22年	6h	
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成23年	3h	
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成23年	3h	
	○	教職	生徒指導・教育相談	平成23年	6h	
○		教科	音楽	平成21年	6h	
○		教科	音楽	平成21年	6h	

△は講座の一部の時間を受講した場合の表示 例：1日の講座を半日だけ受講した場合

より有用な受講履歴閲覧へ 機能強化で活用促進

<ポートフォリオ機能の強化>

今後、全ての研修において受講履歴と成果物をセットで振り返ることを可能にしたい。

	令和2年度	累積	レポート	備考
マネジメント研修	0h	12h	37 報告書_マネジメント研修_福井太郎 .pdf	令和元年度

9 資質能力を自己評価し主体的な研修につなげるキャリアシート作成

【第2ステージ】中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する

セルフチェックシート

キャリア

令和2年度 キャリアシート（数値 年目）

所属

氏名

○本年度重点的に取り組む資質・能力
子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究

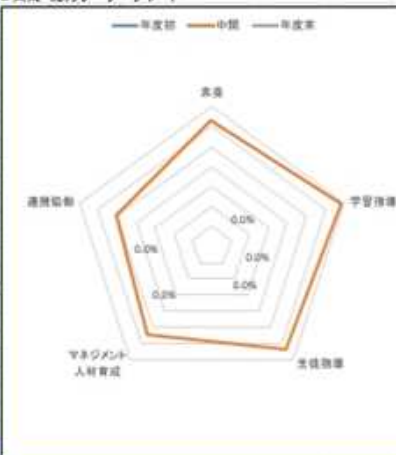
○今年度の主な研修分掌
外国語活動・福祉教育・英語・環境委員会・給食

●セルフチェックシート平均点

	素養	学習指導	生徒指導	マネジメント 人材育成	連携協働
年度初	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
中間	83.1%	68.8%	83.6%	84.7%	80.0%
年度末	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

○本年度の自己成長研修計画（基本研修・研究授業・研究会参加・参観授業・教育書等）

●資質・能力リーダーチャート



●年度初め（月 日）
【自己評価より取組む実践プラン】

【成果】

【課題】

●中間期（10月7日）
【自己評価より取組む実践プラン】
児童自ら課題を設定して、探求する活動「地裏にそなえて」

【成果】
自分が知りたいことをWebやインターネットを通して、調べた多くの情報が集まりすぎ、そこから必要な情報を選り出す方法を身に付けることができた。

【課題】
多くの情報が集まりすぎ、そこから必要な情報を選り出す方法を身に付けることができた。

●年度末（月 日）
【自己評価より取組む実践プラン】

【成果】

【課題】

育成指標をもとに具体的行動目標
約60項目を設定し、自己評価

レーダーチャートをもとに
研修計画や具体的実践プランを立案
資質能力を意識する取組につなげる